

産学協働イノベーション人材育成シンポジウム2024

イノベーションにおける 『技術の軌道』 形成

～研究者コミュニティの役割～

2024年

11月12日(火)

14:30-18:00

開場14:00

現地会場：京都大学東京オフィス（定員60名）

（東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階）

オンライン会場：Zoomミーティング

参加費
無料

量子技術におけるイノベーションエコシステム形成に向けて

量子技術は安全保障に影響を与える技術の一つとして世界の主要な国々で独自技術の開発が急がれ、その産業化や新産業創出に向けた様々な取り組みが行われている。日本では、量子技術に対する官民双方の注目・期待の高まりが比較的遅かったことで、量子エコシステムの本格的形成はこれからという状況である。半導体レーザーの開発において、1980年代に日本が世界的リーダーとなる過程について詳細な研究をされた清水先生に、量子技術を含めたイノベーション創出に必要な環境形成についてご講演いただく。

量子コンピューターは、材料の設計・開発などを通して世界をドラスティックに変革するポテンシャルがある。しかし、量子コンピューターの技術は量子力学の制御においてまだ発展途上にあり、一般にはほとんど理解されていない。そうした中、大阪大学の藤井啓祐先生が立ち上げたQunaSysが先導し、材料開発の第一線で活躍する国内研究者のコミュニティを形成、量子コンピューター教育と量子アルゴリズム・ソフトウェア開発を同時に進め、さらにはこれらの取り組みの海外展開も図っている。量子コンピューターなどの未踏領域における技術開発と人材育成の一体的取り組みは、知識のストックの増加と多くの優れた成果が期待でき、イノベーション創出の観点から非常に興味深い。量子技術という新たな領域において必要とされる人材の育成を産と学がどのように連携すべきか、こういった活動を通して量子技術イノベーションに向けたエコシステムの形成について考える機会としたい。

主催：一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会（C-ENGINE）

後援：経済産業省、文部科学省

プログラム (予定)

14:30-14:45 開会、ご来賓挨拶

14:45-15:30 基調講演 汎用性の高い技術のイノベーション: どのように価値を生み出していくのか



早稲田大学商学学術院 教授 清水 洋 氏

汎用性の高い技術（ジェネラル・パーパス・テクノロジー（GPT）と呼ばれます）は、蒸気機関や電気、コンピューター、人工知能のように、さまざまな領域で用いられ、生産性を向上させ、経済成長を生み出してきました。量子コンピューターが注目されてきた理由の一つも、その技術の汎用性の高さにあります。このような汎用性の高い技術はどのように生み出され、どのように変化していくのでしょうか。スピンアウトを促す社会制度が整備されると、このような技術の基盤的な研究開発が阻害されることが見られています。スタートアップによるイノベーションの生成が目される中で、どのようにこのような汎用性の高い技術を社会的に育てていくのかは重要な課題です。国の役割、企業の役割を考えていきましょう。また、研究開発競争が激しい領域では、技術開発は進むものの、企業は利益を出しにくくなります。それでは、企業にとってはどのような戦略が重要なのでしょうか。ここではボトルネックになっているところで価値が出るという点から企業の価値づくりについても考えていきます。

15:30-16:00 講演 量子人材を創出するエコシステム



株式会社QunaSys Chemical Research Solution 事業部長 高橋 章太 氏

量子コンピューターを中心とした量子技術は、世界中で技術開発競争が加速しており、日本も例外ではありません。しかし、これらの開発を担う専門人材の不足が課題となりつつあります。米国を中心とする国々では、将来の需要を見越した教育や人材育成が進んでいる一方で、日本では将来の活用領域となる分野においても、技術の未確定性ゆえに将来を見据えた取り組みが十分に進んではいません。この課題に対し、QunaSysは特に量子コンピューターの活用が早期に期待される化学分野を中心に、産業界の量子コンピューター需要創出を目指したコンソーシアムを運営しています。このコンソーシアムと連携し、文科省のQ-LEAP人材育成事業の一環として、学生がインターンとして産業応用のユースケースを探索し、産業界への働きかけと将来技術を担う人材育成を進め、継続的な活動につながるエコシステムの形成を目指しています。本講演では、これらの活動を通して見えてきた量子技術を取り巻く産業界および人材育成における課題を共有するとともに、今後の量子技術を取り巻くエコシステムのあるべき姿について議論したいと思います。

16:05-16:35 C-ENGINEの活動について／研究インターンシップ参加学生報告

16:35-17:55 パネル討論 イノベーションにおける『技術の軌道』形成と研究者コミュニティ

17:55-18:00 閉会のご挨拶

18:00-19:30 情報交換会・交流会（参加費4,000円） ※会場：京都アカデミアフォーラム会議室（新丸ビル10階）

※最新のプログラムや講師ご略歴については、イベントウェブサイトにてご確認ください

会場・アクセス

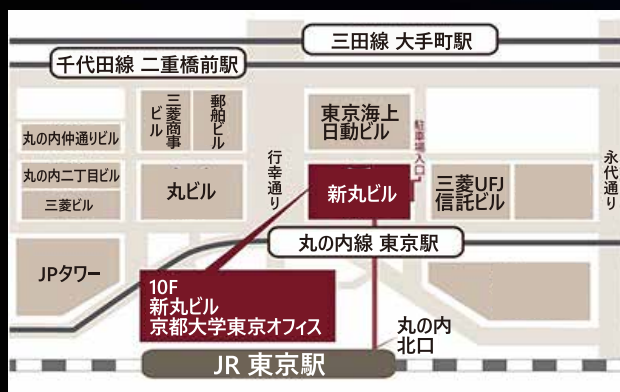
京都大学東京オフィス

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/campus/tokyo-office>

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階

JR、東京メトロ丸の内線「東京駅」直結

東京駅新幹線ホームより徒歩10分。丸の内北口改札出ですぐ



参加お申込み

ご参加ご希望の際は、下記フォームよりお申込みいただくか、または下記問合せ先メールアドレスに、①ご所属・お役職、②お名前、③メールアドレス、④希望の参加形態 をお送りください

参加登録フォーム (Googleフォーム)

<https://forms.gle/4RXoJP2XNsJqmMzN8>



お問い合わせ

一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会事務局

contact@c-engine.org

〒606-8302 京都府京都市左京区吉田牛ノ宮町4

<https://www.c-engine.org> 075-746-6872